

令和 6 年度 栃木県こどもモニター
第 3 回アンケート結果
(小学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第3回アンケート期間

令和6年10月21日（月曜日）から11月18日（月曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

395名

5. 第3回アンケート回答者数

338名

6. 第3回アンケート回答率

85.6%

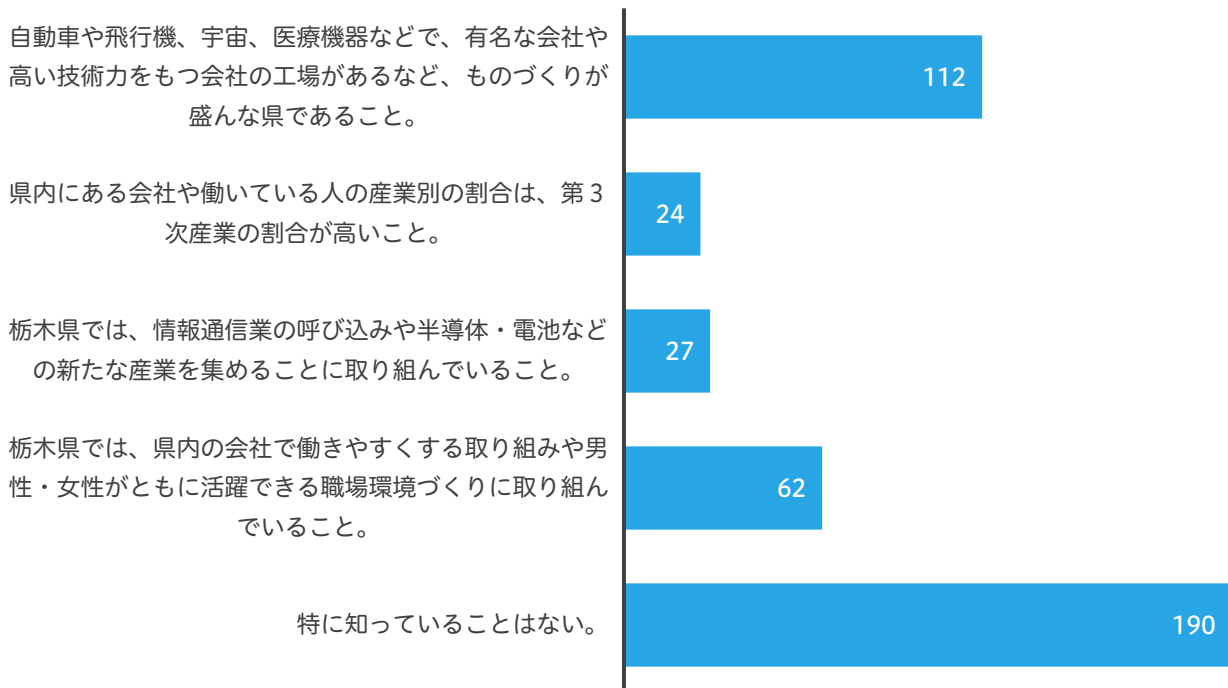
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男子	185	160	47.3%	86.5%
女子	208	176	52.1%	84.6%
答えたくない	2	2	0.6%	100.0%
合計	395	338	-	85.6%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
小学1年生	65	55	16.3%	84.6%
小学2年生	73	61	18.0%	83.6%
小学3年生	67	55	16.3%	82.1%
小学4年生	75	68	20.1%	90.7%
小学5年生	67	56	16.6%	83.6%
小学6年生	48	43	12.7%	89.6%
合計	395	338	-	85.6%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100%にならないものがあります。

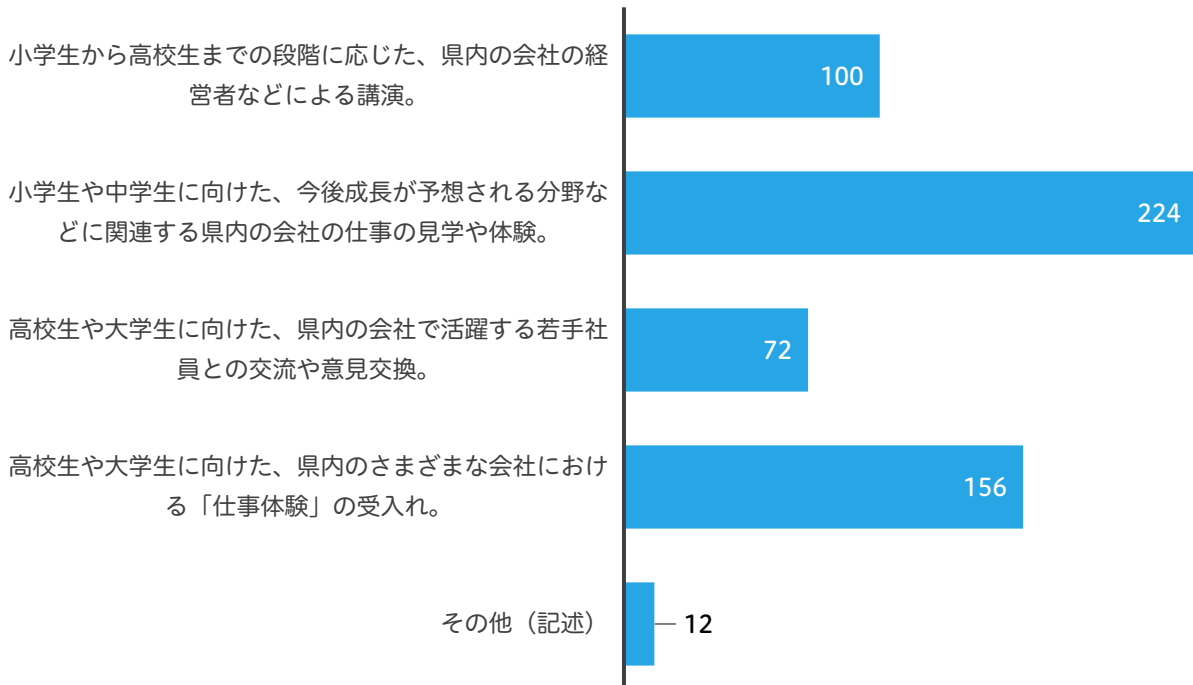
Q1.栃木県の第2次産業（例：ものづくり、家を建てるなどの産業のこと）、第3次産業（例：お店やホテル、配達などの産業のこと）の特徴等について、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「特に知っていることはない」(190件)が最も多く、以下は「自動車や飛行機、宇宙、医療機器などで、有名な会社や高い技術力をもつ会社の工場があるなど、ものづくりが盛んな県であること」(112件)、「栃木県では、県内の会社で働きやすくする取り組みや男性・女性がともに活躍できる職場環境づくりに取り組んでいること」(62件)と続いている。

Q2.進学で東京やほかの県にいる人達に、栃木県にもやりがいのある仕事があることを知ってもらうためには、どのようなことが大切だと思いますか。【いくつでも選んでください】



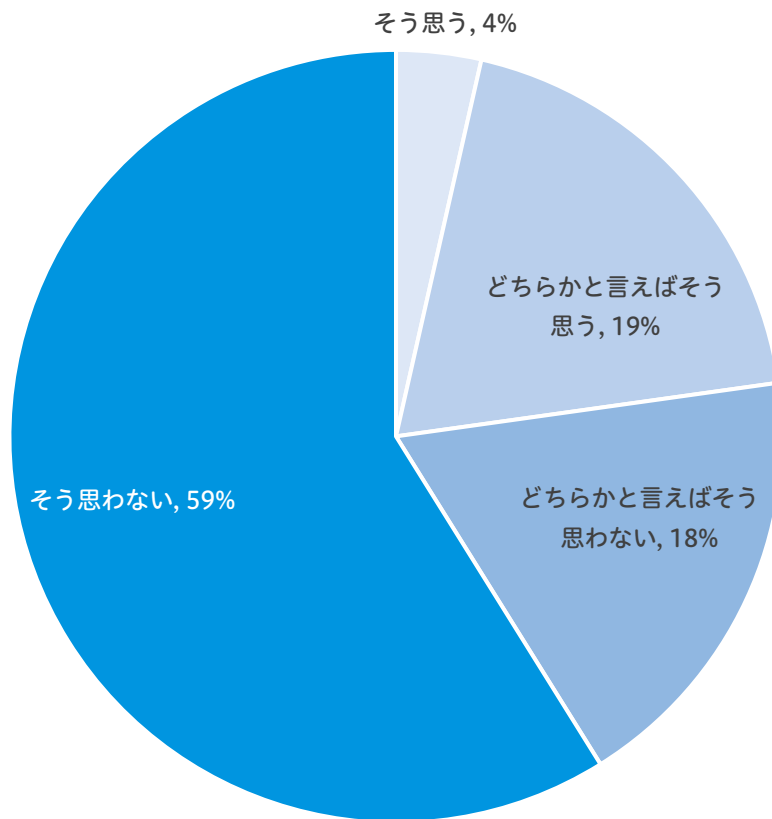
【調査結果の概要】

「小学生や中学生に向けた、今後成長が予想される分野などに関連する県内の会社の仕事の見学や体験」（224件）が最も多く、以下は「高校生や大学生に向けた、県内のさまざまな会社における「仕事体験」の受入れ」（156件）、「小学生から高校生までの段階に応じた、県内の会社の経営者などによる講演」（100件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ キツザニアのような職業体験
- ・ 栃木県しょくぎょうブック
- ・ 小学生や中学生に向けた職業体験。
- ・ 自分からふるさとに戻りたいなと思うような楽しい職業体験ができれば栃木県に戻りたい時思えると思う。
- ・ 勉強
- ・ ネットで通じ、表す項目。
- ・ 実際に体験できて働いている人の思いや誇りが感じられる想いの共有が、あれば憧れになり得ると思う。
- ・ お金がいっぱいもらえる会社であることを教えて欲しいやさしく、働きやすい会社があることを知りたい
- ・ テレビでしようかいする
- ・ 学校でも専門的な教育をする
- ・ 質問が難しいなど 3件

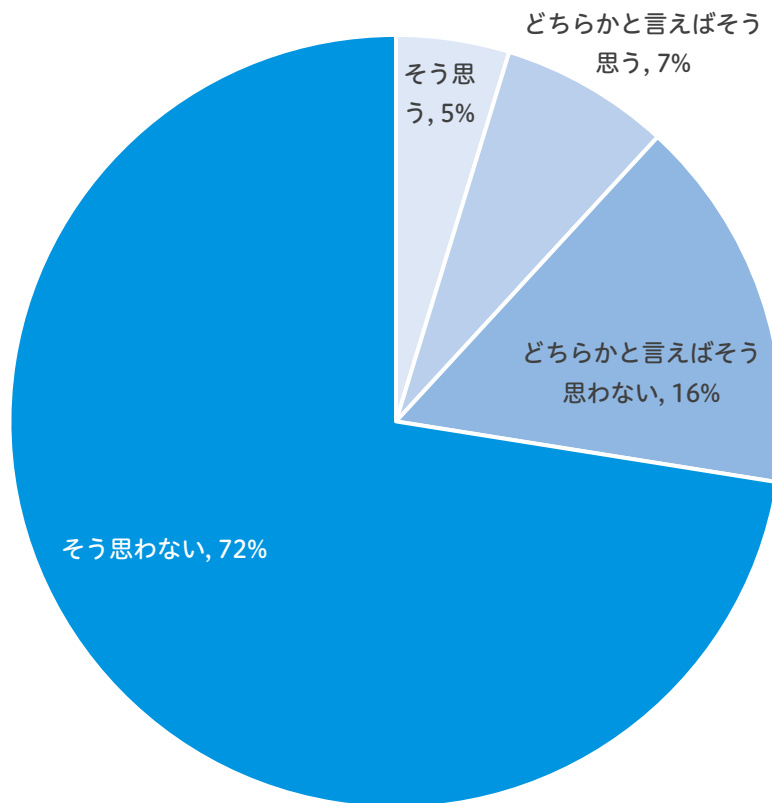
Q3.家事・育児は女性がすべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(59%)と「どちらかと言えばそう思わない」(18%)を合わせると、7割以上の人は「家事・育児は女性がすべきだ」と思っていない結果となった。

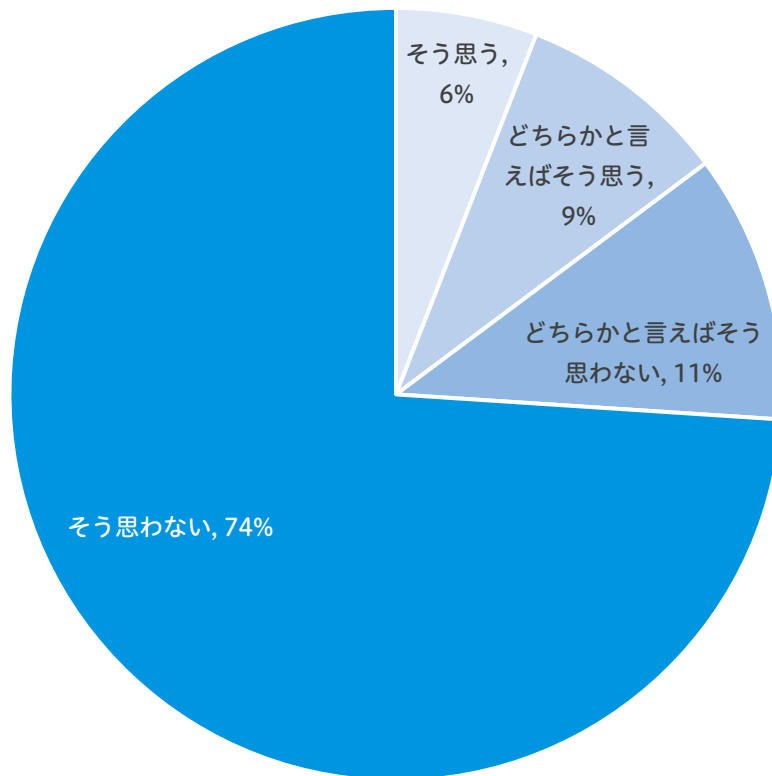
Q4.女性に理系（数学や理科、技術など）の学校や職業は向いていないと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(72%)、「どちらかと言えばそう思わない」(16%)から、8割以上の方が「女性に理系（数学や理科、技術など）の学校や職業は向いていない」と思っていない結果となった。

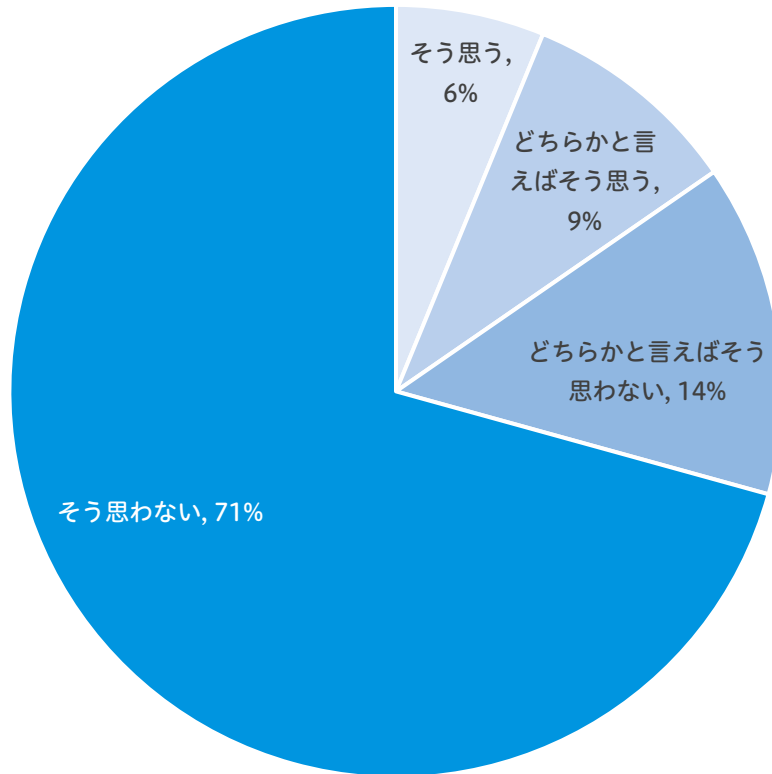
Q5.学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(74%)、「どちらかと言えばそう思わない」(11%)を合わせると、8割以上の方が「学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いている」と思っていない結果となった。

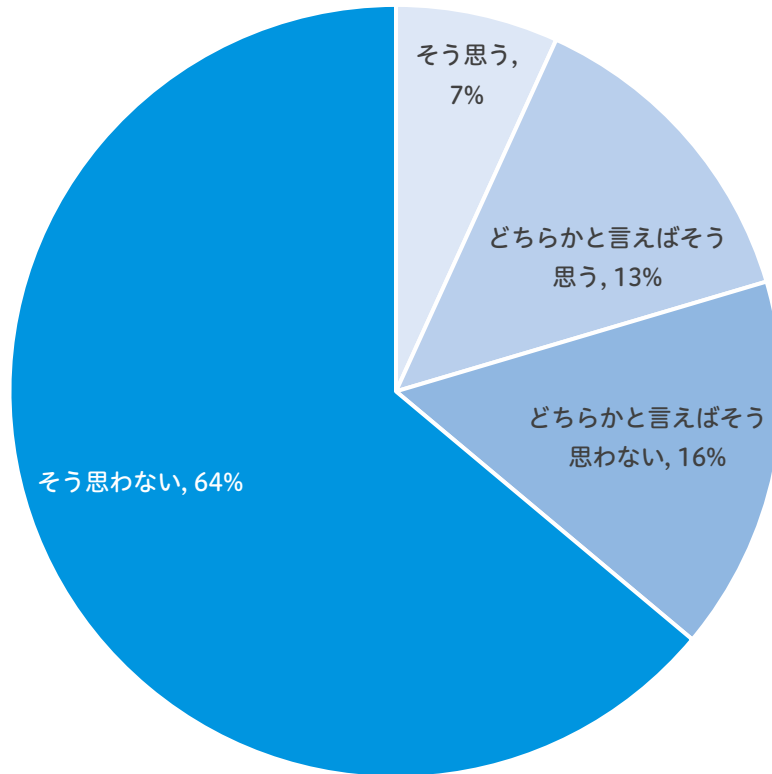
Q6.男性は出産休暇／育児休業を取るべきではないと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(71%)、「どちらかと言えばそう思わない」(14%)を合わせると、8割以上の人
が「男性は出産休暇／育児休業を取るべきではない」と思っていない結果となった。

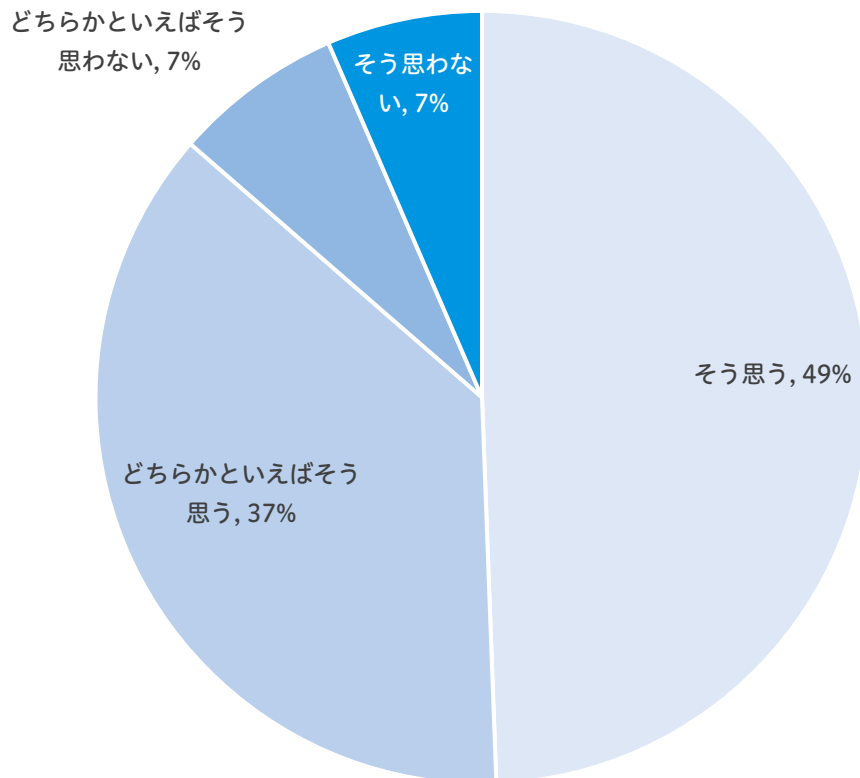
Q7.職場のリーダーは男性が向いていると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(64%)が最も多く、続いて「どちらかといえばそう思わない」(16%)、「どちらかといえばそう思う」(13%)となっており、8割の人が「職場のリーダーは男性が向いている」と思っていない結果となった。

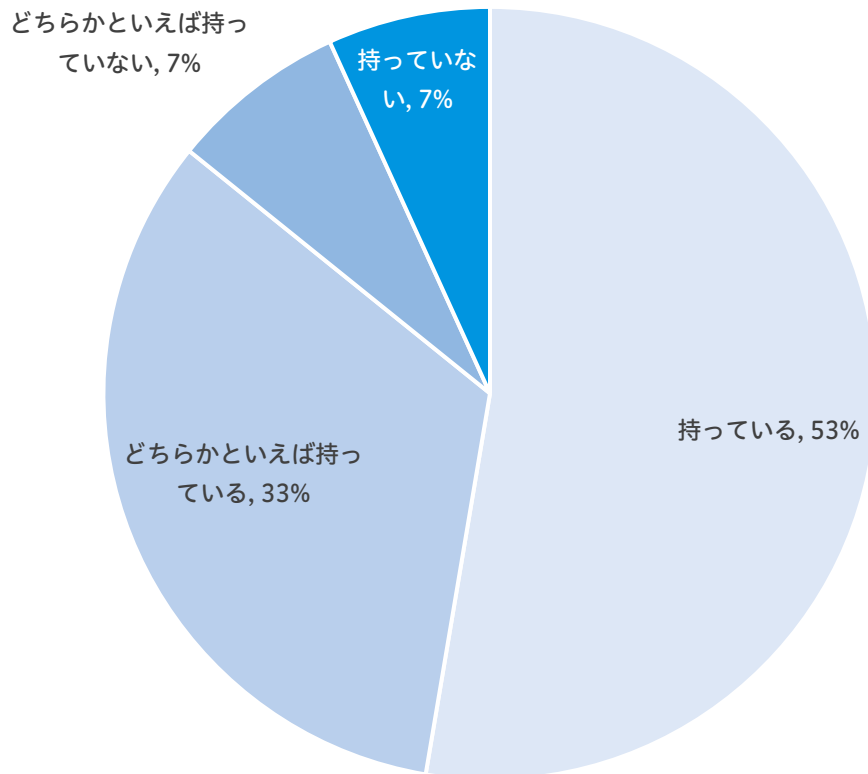
Q8.今の生活が充実していると思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思う」(49%)が約半数を占めており、続いて「どちらかといえばそう思う」(37%)、「どちらかといえばそう思わない」(7%)、「そう思わない」(7%)となっている。

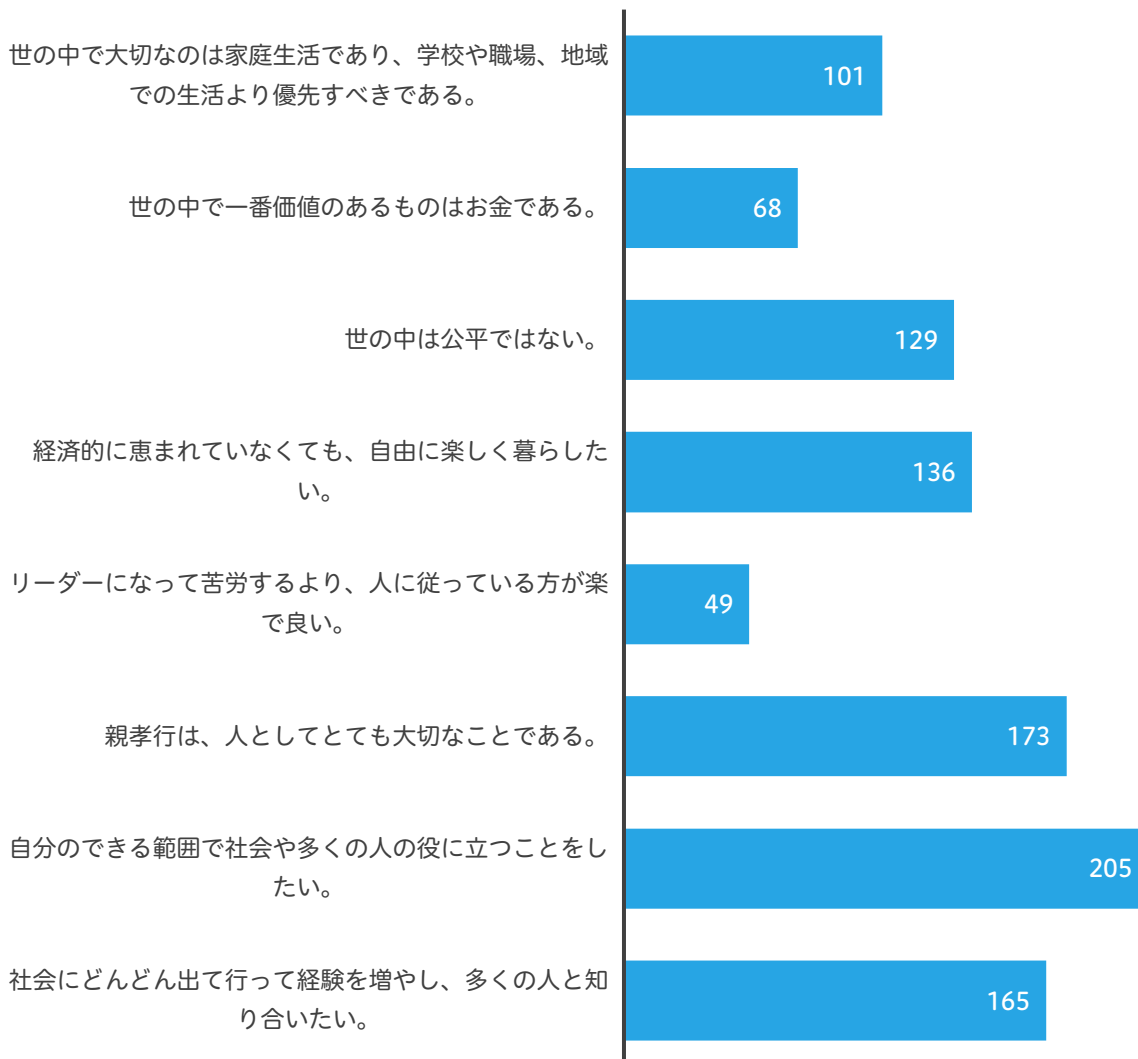
Q9.自分の将来について夢や希望を持っていますか。



【調査結果の概要】

「持っている」(53%)が最も多く、続いて「どちらかといえば持っている」(33%)、「どちらかといえば持っていない」(7%)、「持っていない」(7%)となっている。

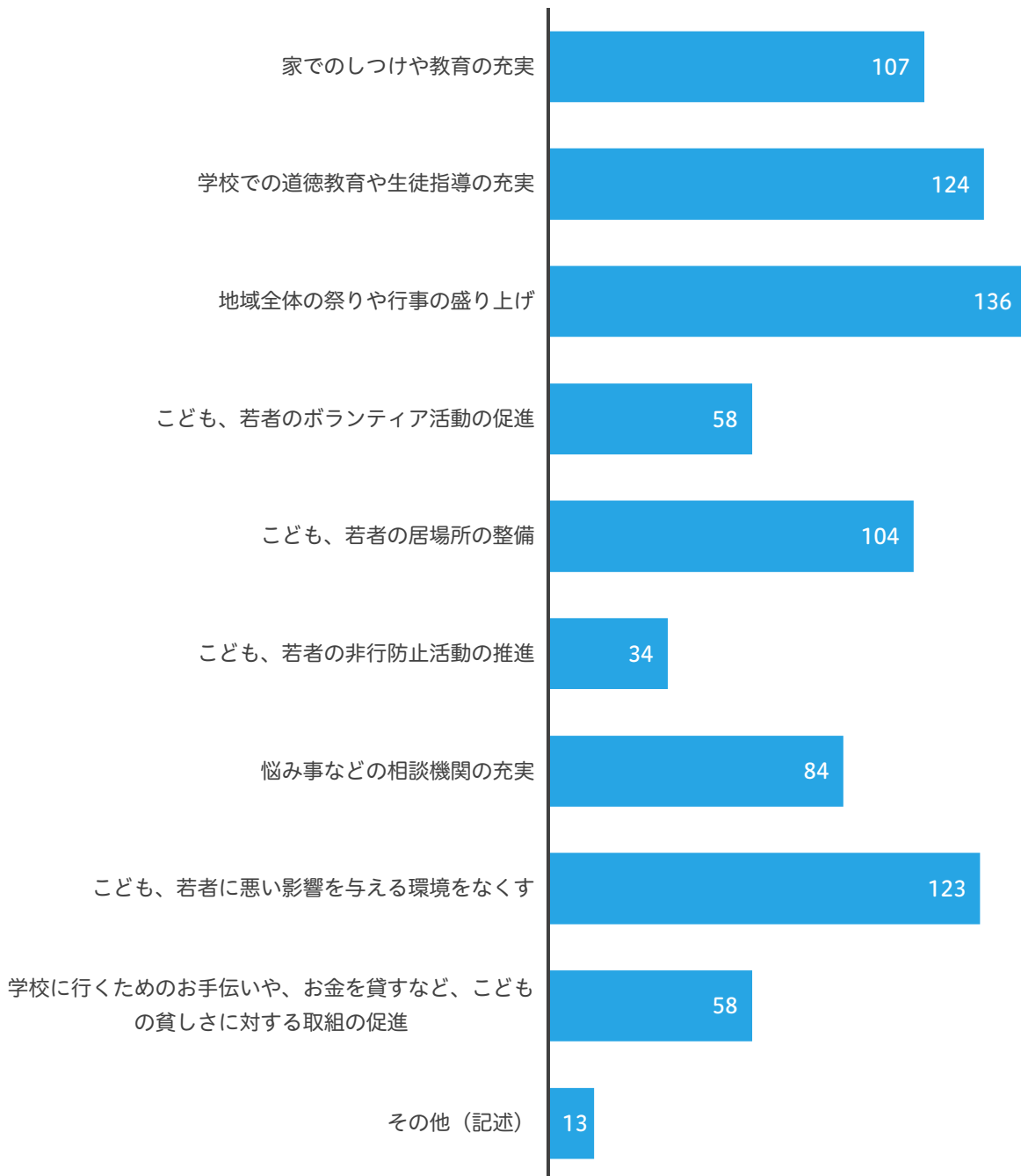
Q10.社会に対する意識として、あなたの考えに近い考え方を選択してください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「自分のできる範囲で社会や多くの人の役に立つことをしたい」(205件)が最も多く、以下に「親孝行は、人としてとても大切なことである」(173件)、「社会にどんどん出て行って経験を増やし、多くの人と知り合いたい」(165件)と続いている。

Q11.子ども、若者が心も体も健やかに育つために、どのようなことが必要だと考えますか。【3つまで選んでください】



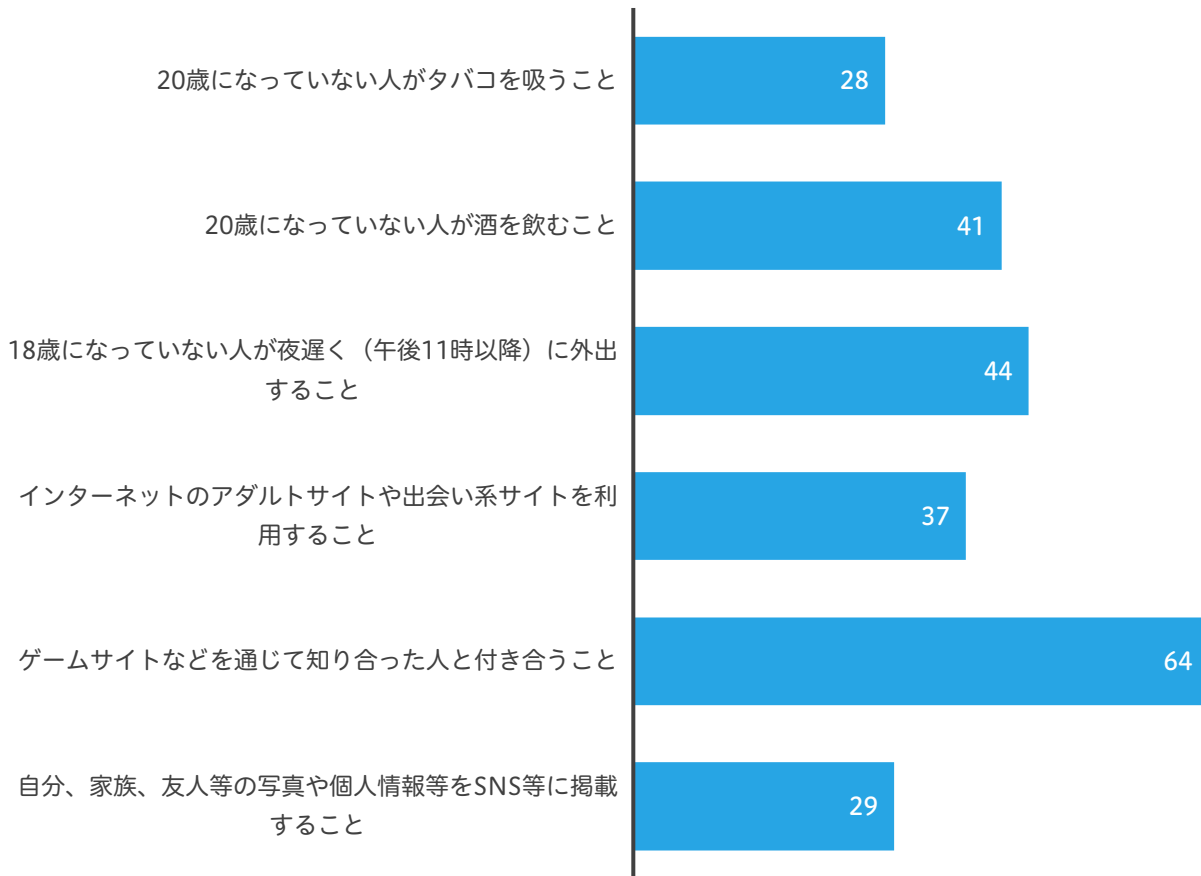
【調査結果の概要】

「地域全体の祭りや行事の盛り上げ」（136件）が最も多く、以下に「学校での道徳教育や生徒指導の充実」（124件）、「子ども、若者に悪い影響を与える環境をなくす」（123件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 職業体験を行い大変さを知って優しくなってもらう
- ・ 給食を豪華にしてほしい
- ・ 学校に乱暴な子がいて、先生が注意しても何も変わらないので、そういう子ばかりを集めて1クラス作り、通常学級と授業を別にしてほしい。やられているほうがずっとがまんして過ごさなければいけないのはおかしいと思う。
- ・ 学校に行きたくない時があるので、楽しいところだと良いです。
- ・ 親という時間の充実
- ・ 家族と楽しく過ごすこと
- ・ 昔あそびを知ること その中で学びが多いと思う。核家族が多いので世代を越えた交流ができる場所があればよい
- ・ 身体が食べ物からできていることを、しっかりと理解し本物の味を知ることができる環境を整える！！子ども本来が持つ好奇心に寄り添い、可能性を潰さずオンリーワンが価値ある自分と未来を切り開くとサポートする大人や場所が増えること。
- ・ 学校のルールが変わってほしい。学校はきゅうくつ
- ・ 室内で運動も遊びもできるみんなが集まれる大きな施設
- ・ 子供の時から働いてお金を稼いだり投資をすること。
- ・ お金を使わないで、ぶつぶつ交換などをする。
- ・ 質問が難しいなど 2件

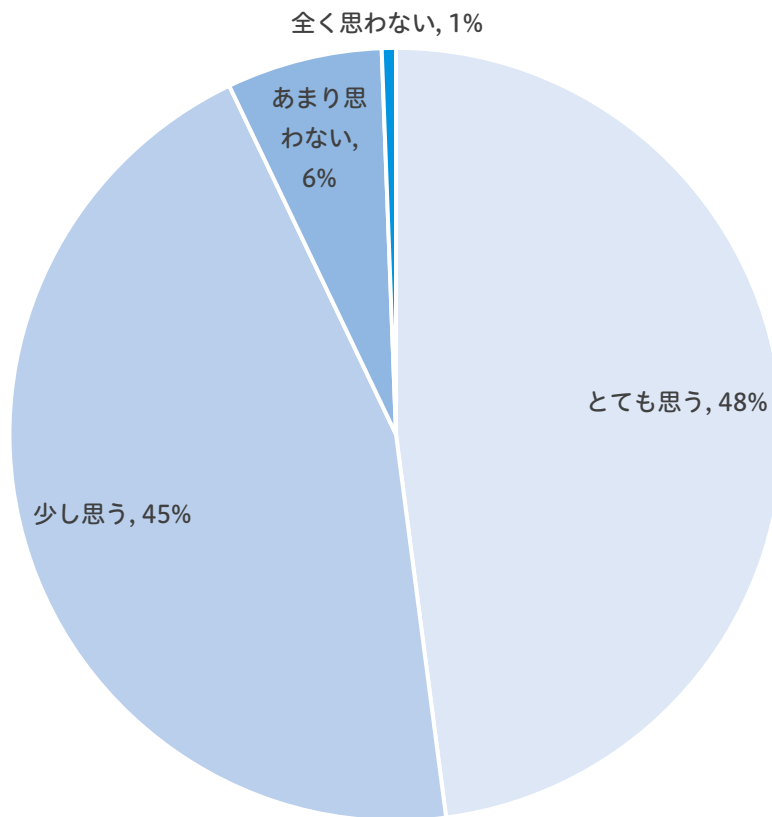
**Q12.あなたの考えでは、次のどの行為が「悪くない」と思いますか。
【全て悪いと思う場合は何も選択せず次におすすみください】**



【調査結果の概要】

「ゲームサイトなどを通じて知り合った人と付き合うこと」(64件)が最も多く、続いて「18歳になっていない人が夜遅く（午後11時以降）に外出すること」(44件)、「20歳になっていない人が酒を飲むこと」(41件)となっている。

Q13.誰かのためや社会のためになることをしたいと思いますか。

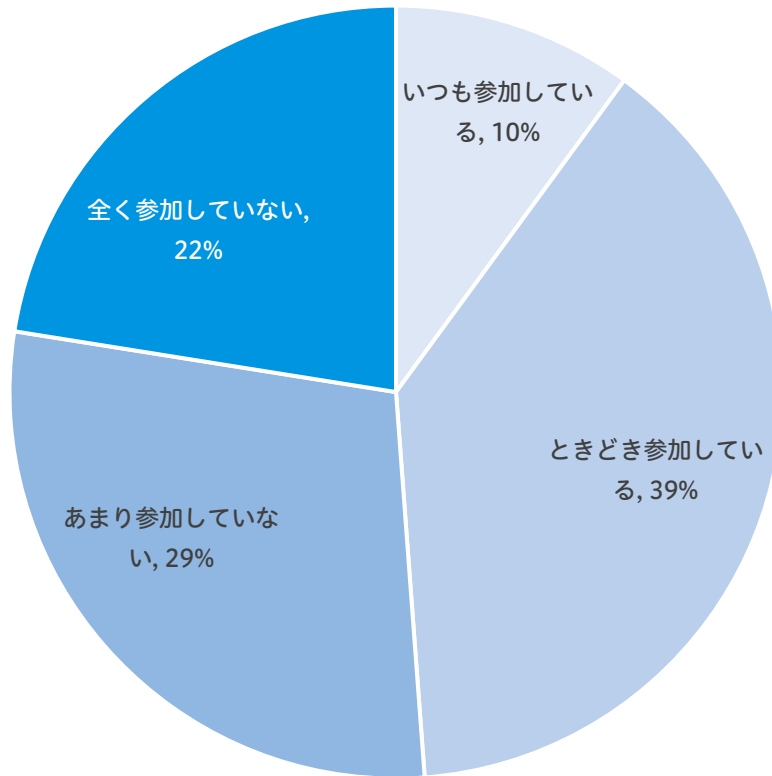


【調査結果の概要】

「とても思う」(48%)と「少し思う」(45%)を合わせると、9割以上の方が「誰かのためや社会のためになることをしたい」と思っている。

Q14.社会貢献活動（ボランティアなど）に参加していますか。

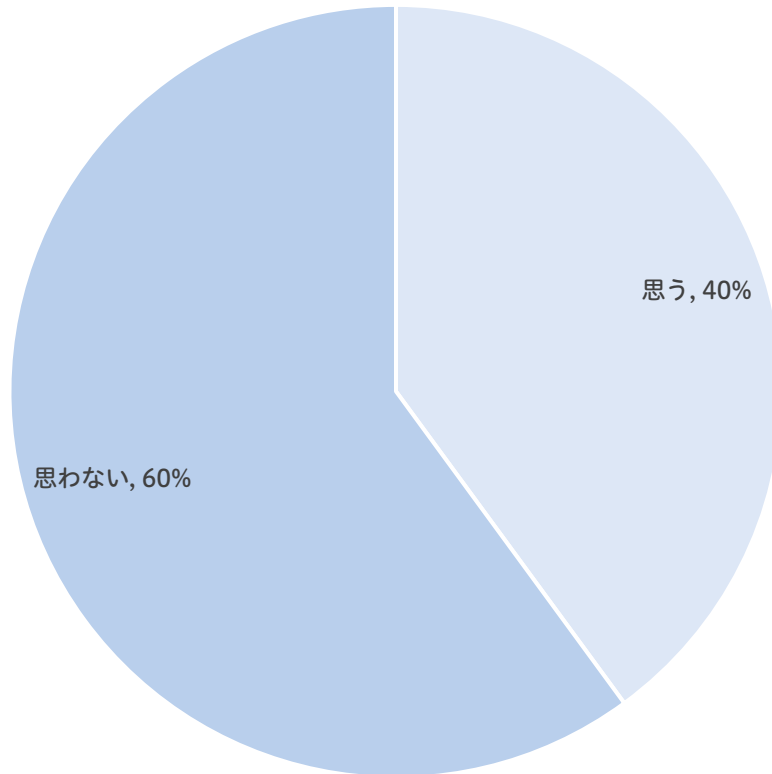
※募金活動、プルタブやエコキャップ等の収集、育成会等の地域活動など



【調査結果の概要】

「ときどき参加している」(39%)が最も多く、続いて「あまり参加していない」(29%)、「全く参加していない(22%)」となっている。

Q15.海外留学や海外で仕事をしたいと思えますか。



【調査結果の概要】

「思わない」(60%)が「思う」(40%)を上回っている。